

花爛漫

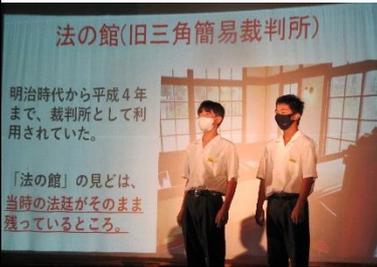
校訓

鍛英自
錬知律



宇城市立三角中学校
学校新聞
令和5年10月18日
編集代表
校長 橋口 京輔

力を合わせて挑戦し輝くことができた！



法の館(旧三角簡易裁判所)
明治時代から平成4年まで、裁判所として利用されていた。
「法の館」の見どは、当時の法廷がそのまま残っているところ。

次は一年生が総合的な学習の時間に学習した「地域調べ」の発表でした。三角の農産物、温泉、郷土料理、神社など調べたことをクイズ形式で出し、盛り上がりました。



吹奏楽部ですが、軽快で迫力がある演奏に会場は大いに湧きました。部員が少ない開会行事の後、まず初めに吹奏楽部の演奏がありました。

十月五日(木)午前八時五〇分、令和五年度三角文化祭がついに始まりました。

二年生は「職場体験学習」での学びを寸劇風に表現しました。どの班の発表も職場で仕事に取り組み様子がよくわかる内容でした。



1-1

合唱コンクール
文化祭の一番の目玉は「合唱コンクール」です。どの学年・学級も練習の成果を存分に発揮し、心と音が一つになった美しいハーモニーを響き渡らせることができました。



2-1



1-2



三年「劇」
三年生は演劇の発表も行いました。配役だけでなく照明の係など一人一人が自分の役割を全うしました。「チーム三年」が創り上げた見ごたえのある劇でした。

四月、三年生を対象に空国学力・学習状況調査が実施されました。今年度は国語・特に英語は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の三領域と話すこと」の領域に分けて実施されました。この調査は学習状況を把握するのが目的で、個人の順位等はできません。また、普段の生活や家庭での様子等についてもアンケートが実施されました。ここで、本校の結果の概要をお知らせします

1 各教科結果の概要
(一)国語
平均正答率は県・全国を若干上回りましたが、書くこと」はよくできていたが「読むこと」に課題が見られました。

(二)数学
平均正答率は県・全国を上回りました。データの活用」が特によくできていました。

子供たちの成長につながる取組を進めます！
校長室より

特技発表
プログラム最後の有志による特技発表で、歌唱あり、ヒップホップダンスありと三角中学生の個性が溢れた。観覧の保護者の皆様、ご来賓の方々、ありがとうございます。

後期 始まる
十月十二日(木)、後期が始まりました。始業式では各学年の代表より、後期に頑張りたいこと、今後抱負等が述べられ、卒業後の進路を決める大切な時期になりました。二年生は三年生に引き継いで、三角中を新しい一年生の手本となるように準備していきましょう。それぞれの立場での活躍を期待しています。

3 課題
三年生は四月より勉強時間は増えていますが、推察されますが、一年生も家庭学習の時間を確保する必要があります。夢・目標を持たせるとともに、自分に自信を持つよう励まし、自己有用感、自己肯定感を更に高めていくよう側面から支える必要があります。

4 今後の取組
さらにアンケートなどをもとに一人一人に寄り添った指導を今後継続していきます。また、家庭学習に対する意識を高めるためにも、自主学習を中心とした家庭学習だけでなく、教科担当から課題を与えた学習を取り入れながら勉強時間を充実させていきます。

1日(水)3年中間テスト(～2日)	28日(火)立合演説会
2日(木)3年入試説明会	30日(水)授業参観懇談会
7日(火)生徒会役員立候補受付開始	
13日(月)教育相談(～15日(水))	
17日(火)宇城中学校音楽会	
21日(火)1・2年中間テスト(～22日)	

家庭学習の時間を確保するためにも、基本的な生活習慣の確立(規則正しい生活)を心がけさせるとともに、ノーマルメディア・ノーゲームデーの取組を進めていきます。